

安平路山登山報告

ヤブコギ登山道が「1級登山道」になっていました。

熊笹が生い茂り200名山でも評判の悪い安平路山に秋雨前線の合間をみて行ってきました。ネットなどで笹が刈られて歩き易くなったとは聞いていましたが、1間~1間半位の広さで山頂まで完全に刈り払いされていました。有難う御座います。お蔭様で膝にも優しい歩き易い快適な登山ができました。しかも大きなナナカマドやドウダンツツジが多く、紅葉してとても綺麗でした。また登山道はシラビソ、シャクナゲ、コメツガ、熊笹などの樹林帯の風情がなんとも言えない雰囲気でした。まさに「森林セラピー」そのものでした。でも「大平宿」からの東沢林道は噂通りの悪路でした。腹をすらないように、運転技術を駆使してやっと往復しました。今までに走った林道でも最悪でした。ほとんど「ローギア一、一速」走行でした。同行してもらったK氏に感謝します。

10/1 (木) K氏宅 6:45~8:10 飯田IC~10:10 播古木自然園休憩舎 (1770M、174KM走行) 10:30~12:05 播古木山 (2169M、昼食) 12:45~13:46 シラビソ山 14:05~14:35 安平路避難小屋 (2120M) 14:40~15:35 安平路山 (2363M) 15:45~16:30 安平路避難小屋 泊

今日は久振りの好天、明日は雨模様なので今日の内に山頂へ行き明日は下山のみの作戦である。飯田ICから園原経由の道が予想以上に手間がかかり、予定より1時間も登山口に遅くなった。オフロードの林道、先行車の跡がある。途中で軽のジープ車が停まっている。どうもあまりの悪路に走行を諦めたようだ。我々もそこに車を置いて歩いて様子をみに少し歩く。車で行って見る事にする。途中で中高年の男女3人組が歩いている。ジープの連中である。あまりの悪路に諦めて歩いたようだ。休憩舎は宿泊もできるようになっている。ここに前泊して日帰りが理想的と思う。(理由は安平路の避難小屋はトイレも無く、入り口の戸が2箇所とも不具合なので。) トイレも150M位手前にある。3人組は播古木山往復との事。天候は予想より悪くて展望がほとんど効かない。避難小屋に荷物を置いて山頂を目指す。水場を確認して到着した山頂は展望のない樹林帯である。



奥念丈岳方面は肩位の熊笹に覆われているが足元は踏み跡がうっすらついている。笹も細くて胸～肩位なのでヤブコギも体で押し進む感じで歩けそう。年間何人くらいが縦走するのだろう？ 帰路水場（沢水）で水汲みして避難小屋へ。伊那側の林の中に簡単なトイレがあるが、語粗末すぎる。

安平路避難小屋・同行のKさん



安平路山山頂



10/2（金） 6：25～7：23 シラビソ山～8：25 播古木山 8：30～9：05 休憩舎 9：30～11：00 高森温泉御大の湯（入浴） 12：00～辰野PAで昼食～14：30 自宅（走行 325KM）

起きると小雨が降っている。雨は覚悟していたが、こんなに早く降り出すとは。今日は下山のみ、雨具を着て歩く。でも登山道の森林の風情が良いので雨の中を歩く時の暗さや嫌味が無い。ほとんど休まずに休憩舎に戻る。

下山の林道走行は登山以上に気を使う。大平宿をユックリ見学したいが雨降りなので車内から見物する。江戸時代から続いた民家が 18 戸あったが 1970 年に集団移住したとの事で無人集落と言われているが、観光客相手の店も営業しているし、人の居住も確認できた。各戸には「屋号」が掲示されている。往路とは逆に風越山方向で飯田市に向かうがこの経路も長い距離だ。道はシッカリしているが車がほとんど走っていない。高台にあり、晴れていると南アルプスの展望が良く、設備も良い「御大の湯」に入り、果樹園畑の続く道を松川 IC に向かう。清水栄一氏の信州百名山完登達成にリーチをかける事ができた。